

# 「私たちのちかい」についての親教

私は伝灯奉告法要の初日に「念仏者の生き方」と題して、大智大悲からなる阿弥陀如来のお心をいただいた私たちが、この現実社会でどのように生きていくのかということについて、詳しく述べさせていただきました。このたび「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいという思いから、その肝要を「私たちのちかい」として次の四ヶ条にまとめました。

わたし

## 私たちのちかい

ひとつ じ ぶん から と  
一、自分の殻に閉じこもることなく  
おだ かお やさ こと ば たいせつ  
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします  
ほほ え かつ ほとけ  
微笑み語りかける仏さまのように

ひとつ なが  
一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず  
こころ ふ ま こころ  
しなやかな心と振る舞いを心がけます  
こころやす ほとけ  
心安らかな仏さまのように

ひとつ じ ぶん だい じ  
一、自分だけを大事にすることなく  
ひと よろこ かな わ あ  
人と喜びや悲しみを分かち合います  
じ ひ み ほとけ  
慈悲に満ちみちた仏さまのように

ひとつ い き  
一、生かされていることに気づき  
ひ び せい いっ ぱい  
日々に精一杯つとめます  
ひと すく つ ほとけ  
人びとの救いに尽くす仏さまのように

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会に唱和していただきたいと思っております。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これからも広く伝えていくことが後に続く私たちの使命であることを心に刻み、お念仏申す道を歩んでまいりましょう。

2018(平成30)年11月23日

浄土真宗本願寺派門主 大谷光淳